



決算質疑 あれこれ

決算審査って
どんなことを
審査しているの？



歳入では

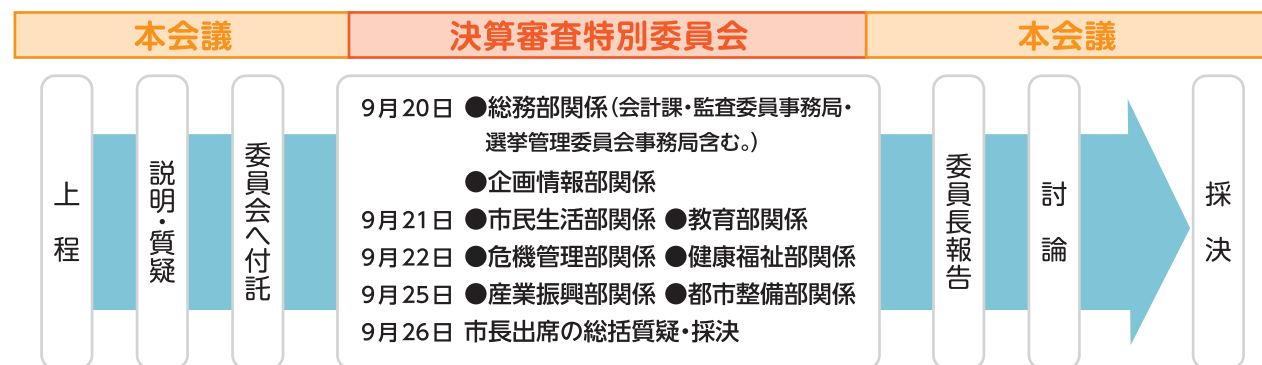
1. 市税徴収は順調か
2. 補助金が確保されているか
3. 市債が確保されているか

歳出では

1. 支出は適法適正か
2. 不用額は妥当か
3. 補助金の効果は適正か
4. 主要施策の成果
5. 財政運営の適否

などを審査します。決算審査を通じて、予算に計上された様々な事業がどのように実施されたかがわかってきます。決算審査でわかったことを踏まえて当初予算の審査をします。

決算審査の流れ



主な質疑

学びイノベーション事業

- 問** 学校教育用タブレット端末の家庭学習での利活用は。家庭での利用を進めるための課題は。
- 答** コロナ禍で自宅待機となった生徒に、タブレット端末を通して黒板の板書をリアルタイムに共有したり、放課後にオンラインで面談などを行いました。今後も情報モラルの指導を進め、家庭でのルールを設けながら進めていきます。
- 問** タブレットを使った授業が充実しているが、特別支援学級の児童が使うアプリが有償となり、不便をきたしていないか。
- 答** 現在学校ではMDM(モバイル端末管理)システムを使用し、その内容で無償のアプリが使用できるようになっています。以前に比べ、内容が充実されており、MDMの範囲でカバーができています。

有害鳥獣駆除

- 問** 猟友会に委託しているイノシシ等の駆除状況は。
- 答** 令和4年度の檻設置数691基、捕獲頭数1,528頭、処分頭数2,037頭、捕獲0頭が57基でした。今後さらなる対策を練ります。



ごみ削減に向けて

- 問** 市の総人口は減っているが、ごみ処理量は減少していない。この要因は。
- 答** 淡路島を訪れる観光客は年間約960万人おり、そのうち約700万人が本市を訪れています。1日平均約1万9,000人であり、観光客増加による影響だと考えます。

交通安全対策

- 問** カーブミラーが冬季は結露や凍結で見えない。曇りにくいミラーなど新製品もあり、対応が必要ではないか。
- 答** そのような製品については承知しています。令和4年度はその事での更新はありません。今後は場所を含め、検討していきます。

農業振興地の農地転用

- 問** 農業振興地除外(農地転用)の実績はあるのか。また、除外となる条件や判断基準は。
- 答** 後継者住宅や露天駐車場に変更が認められたケースはあります。令和4年度で3件、令和5年度現時点で2件の実績があります。また、判断基準は市全体のゾーニングとして考えていく必要があると考えています。

介護予防事業の効果は

- 問** 令和4年度の要介護認定者のうち新規認定者数、介護度が変化した人数についてどのように評価しているか。
- 答** 介護状態になる方について、国の平均年齢は83.3歳ですが、本市でいきいき100歳体操に参加されている方は85.2歳となっています。このことから介護予防事業の効果が出ていると考えています。

移住・定住促進事業の効果は

- 問** 移住定住相談窓口の相談件数や傾向、窓口を通しての移住者数、移住元や年齢層は。
- 答** 令和4年度は相談件数が1,141件で、移住者は64名でした。コロナの影響が落ち着き、その流れに比例して移住件数も落ち着いています。関西圏から約6割、首都圏からは約3割で、20代が15%、30代が50%、40代が25%、50代と60代が各5%の比率です。
- 問** 物件数の不足により、伸び悩んでいると思うが、その要因をどのように分析しているのか。
- 答** 空き家状態であっても、手放す(売却)ことへのためらいがあるのではないかと考えます。不動産事業者の物件等も空き家バンクへ掲載したり、他部署と連携しながら引き続き進めていきます。

出前市役所廃止後

- 問** アルクリオに設置していた出前市役所を閉鎖した後の体制や、以前利用していた市民の感想や意見は。
- 答** 本庁1階にて、消費生活センター機能は継続して設置し、受付対応をしています。専門相談員は変更せず、対応は以前と同様なので、特に問題は起こっていません。
- 問** 土日祝日の対応はどうしているのか。
- 答** 現在は平日しか対応できませんので、電話番号188(消費者ホットライン)にて、緊急対応するようにしています。

基金の増加

- 問** 基金(市の貯金)が増えた要因は。
- 答** ふるさと納税が好調で、約8億円の増加となりました。また、国からの交付金が当初の予定よりも増えたため、一部の基金では取り崩さずに全額積み立てることができました。今後も災害等への備えの意味からも、計画的に基金を維持していきます。

職員の健康管理

- 問** 長時間労働者の面談実績と、ストレスチェックで面談が必要とされた職員の状況は。
- 答** 長時間労働職員について、16名に面談を行いました。その結果、部署異動などの措置を実施しています。健康診断時にストレスチェックを実施し、希望者は産業医の面談を受けることができます。結果は本人のみに通知され、令和4年度は56名中1名の申し出がありました。



自衛隊への情報提供

- 問** 自衛官募集について、自衛隊に対し対象年齢に達した市民の住所などの名簿の情報提供を行っているが、個人情報保護の観点からも懸念がある。令和4年度から希望者は名簿から除外することになったが、除外申請はあったか。また、周知方法がホームページだけだが、広報紙でも知らせる必要はないのか。
- 答** 令和4年度は1件の除外申請がありました。今後、周知方法については検討します。